

【所属名：教育委員会文化振興課】

【会議名：平成 22 年度第 1 回糸魚川市文化財保護審議会】

会 議 録

作成日 平成 22 年 8 月 27 日

日	平成 22 年 8 月 26 日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	糸魚川市民図書館 3 階 視聴覚室
件名	報告(1) 平成 22 年度の文化財関係事業について (資料 1) (公開) 報告(2) 白山神社収蔵庫の整備計画について (公開) 報告(3) 埋蔵文化財の調査について (資料 2) (公開) 報告(4) 史跡等の整備・修繕について (資料 3) (公開) 報告(5) 白山神社所有指定文化財の移動について (資料 4) (公開) 報告(6) 糸魚川歴史民俗資料館の企画展等について (資料 5) (公開) 報告(7) 解説板・標柱等の修繕について (資料 6) (公開) 報告(8) 「根知山寺の延年」用具類の整備について (資料 7) (公開) 報告(9) 松沢家住宅の修繕について (資料 8) (公開) 報告(10) その他 (公開) 視察 (1) 糸魚川歴史民俗資料館企画展「白山神社社宝展」について その他 (1) 第 17 回遺跡発掘調査報告会・出土品展について (公開) その他 (2) 深鉢 (人物文) の貸し出しについて (公開) その他 (3) その他 (公開)				
出席者	【出席者 10 人】 金子会長、利根川副会長、小川委員、西沢委員、濱田委員、松野委員、 野紫木委員、山崎 (正) 委員、山崎 (英) 委員、吉田委員 【欠席者】 なし 【事務局 7 人】 竹田教育長 文化振興課 小林課長、横田補佐、木島副参事、山岸主査、小林主任主事、高津主任主事				
	傍聴者定員		一人	傍聴者数	0 人

会議要旨

1 開会 (13:30)

【事務局】 小林課長あいさつ
教育長あいさつ

昨年度は国指定「山口家」と日光寺の文化財防火デーの訓練を公式に見学した。それぞれ所有者や地域の方々の保存への努力などが見てとれた。審議委員のみなさんも文化財所有者から何か聞いたりしたときは、遠慮なく教育委員会に相談願いたい。また福島県で行われた「縄文シティサミット」でもお話したが、市内の文化財等について、今後世界ジオパークとしての立場を見据えたPRが必要だと考えている。

【出席者】 金子会長あいさつ

本年度最初の審議会で、資料としては報告事項が多くなっているが、内容的には今年度の文化財事業の総括としてご審議願いたい。

2 報告 (13:40)

(1) 報告事項 (1) について

【事務局】 説明

質疑応答

【委員】 資料No.1 について。長者ヶ原遺跡の11号住居の復元に800万円もかかることに、正直驚いた。1つくらいカヤの無い住居の展示もあったほうがいいのでは。少し無駄な気がする。

【委員】 工法について、従来と同じか。カヤが抜け落ちて維持費が恒常的にかかっているが、最新の工法等を用いて、もっとカヤを長持ちさせる方法があるのでは。

【事務局】 骨組みだけの展示にする方法も当初検討されたが、国・県との協議の中でその方法だと補助金が受けられないことがわかった。工法について、長持ちさせるには擬木を使用することが考えられるが、文化庁の指導で擬木の使用はできない。金物等も見えないところには使用できないなど、いろいろな制約がある。今回の工事では、少しでも長持ちさせるため、木材は虫などに強いクリの木を用い、皮を剥いた上焼き入れをして使用する。カヤが抜けるのは雪国なので、ある程度は覚悟して修繕計画をたてるべきと考える。

【委員】 フォッサマグナパークを市外の見学者2名と訪れたが、案内看板が薄すぎて、せっかく世界ジオパークとしてPRしようという時に非常に残念であった。あれはどこで管理・修繕すべきものか。

【事務局】 おっしゃる看板については、16年ほど前に設置したままであり、当初から色は薄かったものの、退色しているのは明らかである。フォッサマグナミュージアムで予算計上し、修繕すべきものと考えている。

【委員】 橋立ヒスイ峡へいったが、警告看板ばかりが目立ち、総合案内の看板は見つけられなかった。

【事務局】 ご指摘のとおり、総合案内看板などの設置は現在のところない。改善策として、付近の要所に仮設案内看板を設置している。

【事務局】 道路管理上など、クリアしなければならない問題はありますが、駐車場や案内看板を設置すべきと考えている。

【委員】遊歩道の設置があるが、途中川を渡らなければならなくて危険な所がある。

【事務局】男性ならともかく、女性の通行は困難であることは認識している。但し、遊歩道自体の存在意義は現在薄れてきている。主だったヒスイを移動したため。

【委員】遊歩道は木道となっており管理をきちんとしてないと歩行者に危険が及ぶ上、見学すべきヒスイが乏しいことから、遊歩道を通行止めにする 것도検討してほしい。

【委員】標柱・解説板の整備事業で、標柱を木材で作成すると経費がかかる。いっそ石柱に替えることも検討してほしい。

(2) 報告事項 (2)

【事務局】 説明

H22、23 年度に渡り整備予定。鉄筋コンクリート建。100 m²前後。一部建設地がヒメハルゼミの生息地にかかるため、国県に協議の上現状変更申請手続きを行っている。資料を収蔵庫に収められるのは再来年の秋以降（文化庁の指導）。総額5千万円（補助対象外部分含む。）

質疑応答

【委員】白山神社の景観を壊さないよう、デザインを充分考慮してほしい。

【事務局】設計業者は文化財保護について充分知識のある業者であるから、景観保護については問題ないと考えている。

【委員】白山神社の宝物は宝光院との神仏習合時代からのものであり、そのへんのニュアンスを展示の際には考慮してほしい。

【事務局】計画には展示室ももちろん入っており、展示の仕方についても今後検討していく。

(3) 報告事項 (5)

【事務局】 資料No.4 について説明。

質疑応答

【委員】確認したいのだが、糸魚川歴史民俗資料館が認定施設として認められたということではないのか。

【事務局】ただの移動先の施設として許可がおりただけで、認定施設になったわけではない。

(4) 報告事項 (3)

【事務局】 資料No.2 について説明。

質疑応答

【委員】開発に伴う発掘が多いようだが学術研究を目的とする発掘はあるか。

【事務局】ほとんどないが稀にある。長者ヶ原遺跡などは学術的な要素が強い。但し、開発に伴う発掘が多すぎて、現状そういう主旨の発掘は困難である。

(5) 報告事項 (4) (6) (7) (8) (9)

【事務局】 資料No.3,5 について説明。

資料No.6,7,8 について説明。

【事務局】資料7にある「ふるさと文化再興事業」補助金は、金額的な制約はあるものの、指定を受けていない文化財の所有者が非常に使いやすい内容となっている。もし要望があれば、当課に相談願いたい。

(6) 報告事項 その他

- 【事務局】 ・近代化遺産である「赤レンガ車庫」の記録保存について報告。
・光照寺のシイノキについて、カシノナガキクイムシの影響で殺菌処理を今後行う旨報告。
・鬼舞「伊藤家」の調査について、これまでの調査報告と今後の調査予定について報告。

【事務局】 押上「中村家」の全ての資料について、遺族から糸魚川歴史民俗資料館へ寄贈を受けた旨報告。現在目録を整備中。

3 その他（15：00）

（1）第17回遺跡発掘調査報告会・出土品展について

【事務局】 9/5 に青海のきららホールにて開催。今まで糸魚川で遺跡はないと言われていた場所で見つかった六反田南遺跡や山岸遺跡など、今はすでに地中深く埋まってしまう、見られなくなったものが一堂に展示される。学術的に非常に貴重な資料なのでぜひご観覧いただきたい。

（2）深鉢（人物文）の貸し出しについて

【事務局】 一戸市から貸し出しの依頼があった。現在貸し出す方向で調整中。

（3）その他

【委員】 杉之当の大スギ巡視したが、素人が見ても樹勢について判断できない。定期的な診断などしているか。

【事務局】 定期的な診断は行っていない。明らかに樹勢の悪いものについて樹木医に診てもらっている。その時にその他の木の樹勢についても相談するなどしている。

【委員】 杉之当もそうだが、文化財を見学しようというときに案内がなく近くまで行けない所がある。道標等整備してはどうか。

【委員】 閉会あいさつ

－閉会－（15：20）

※火葬場裏遺跡で出土した遺物の見学。その後糸魚川歴史民俗資料館において、「白山神社社宝展」視察。（～16：00）